

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書



- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名

【 宮城県 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	実施学校 山元町立山下小学校 対象学年 全児童 195名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (朝会・持久走記録会) ③ その他 (環境整備) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・オリンピックやパラリンピックの意義を理解させるために、歴史に触れることを通して、オリンピック、パラリンピックの精神を理解し、興味関心を高める。
5 取組内容	<p>1 53年前の今日、何があったか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 53年前の10月10日に何があったのかを知る。 ○ オリンピックに関するクイズに答えながら、オリンピックについて興味・関心を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・2020東京オリンピックの開会式はいつ？ ・日本人がこれまで取ったメダルの数はいくつか。 ・日本人金メダリストで一番若い人は何歳か。 ・宮城県の人で金メダルを取った人は誰か。 <p>2 君原健二選手のことを知らせ、子供たちに頑張る気持ちをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 君原健二選手について知らせる。 ○ 君原選手を参考にし、全員が完走してほしいことを伝える。 <p>3 オリンピック・パラリンピックに興味・関心を高める環境</p>



	 <ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック・パラリンピックコーナーを設置し、子供たちの興味・関心を高める。 ○ オリンピック、パラリンピックに関する図書資料の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 走り幅跳びや走り高跳びの世界記録を実感できる場を設置する。 <ul style="list-style-type: none"> ・廊下や壁面を活用し、走り幅跳びや走り高跳びの世界記録を掲示する。 ・実際の距離や高さを実感し、オリンピックに出場する選手の能力の高さを知る。 
<p>6 主な成果</p>	<p>オリンピック・パラリンピックについてのアンケートの実施を通して次のような成果が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック・パラリンピックに関する児童の意識調査から、次のことが成果として考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> [東京オリンピックについての興味・関心度合い] <ul style="list-style-type: none"> ・低学年児童の調査でも、80%程度の児童が興味・関心を持っている。高学年では、90%程度の児童が興味・関心を持っている。 [東京パラリンピックについての興味・関心度合い] <ul style="list-style-type: none"> ・低学年児童では、50%程度の児童が興味・関心を持っているが、高学年では70%程度の児童が興味・関心を持っていると答えている。 [東京開催を受けて、どのようなことを外国に発信したいか] <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化、東日本大震災からの復興した姿などを伝えたいと回答した割合が高い。 <p>以上の取組から、オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まったことが分かる。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視聴覚教材の積極的活用を図ることで、オリンピック・パラリンピックへの関心や知識・理解を高めるようにした。 ○ オリンピック・パラリンピックについての環境整備を図ることで、実感をもって理解できるよう工夫した。 ○ 児童に対してオリンピック・パラリンピックについての意識調査を行い、客観的なデータの収集を行った。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育全体を通じた、継続的計画的な指導を展開する必要がある。 ○ 児童の作文や感想文など、事業の評価に結びつく評価の在り方を検討する必要がある。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京オリンピック・パラリンピックに対する意識の高まりを継続発展させるために、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等に計画を位置付け、実践を継続していく。